

第1回新産業戦略ワーキンググループ 議事要旨

日時：令和3年11月4日（木）13:00～15:00

場所：県庁3階特別室・オンライン

- ・ DX機器が非常に高額との説明があったが、DXは、アプリなど無料でできることはかなりあり、高度だから高額とは限らない。
- ・ SaaSなど、ソフトウェアパッケージを購入しなくても、お試しで使えるようなサービスを県でリスト化することも考えられる。
- ・ 成長戦略は（中間とりまとめの段階では）総花的なところがあるが、どこを重点的にやるのかをこれから考えていく必要がある。
- ・ 富山県は自然に恵まれており、水力発電や地熱など日本列島の中で一番エネルギーを持っており、重点化してほしい。
- ・ アルミ産業などではCO₂の排出量が大いなので、リサイクルを考えてもらいたい。
- ・ 富山県はレジ袋有料化の発祥の地であり、市内電車も残っていて、CO₂排出削減に寄与している。加えて、自然エネルギー活用やリサイクル促進などの取組みにより地場産業を強くすることで、カーボンニュートラルを住民全体で考えるモデル地区になりうらと思う。
- ・ 県庁内に部局横断的にDX施策を統括するCIO補佐のような立場の方を置いて、全体を見通しながら施策を進めるとよいのではないか。
- ・ 経済財政諮問会議では、出てくる成長戦略等は各省庁の顔を立てた幕の内弁当のようになりがち。シンガポールでは、皆の顔を立てて総花的にやると、力が分散してしまうので、「弱者の理論」から、一点突破の施策を進めており、現在は、世界一のブロックチェーン国家にするために集中的に支援を行っている。
- ・ 富山県も、「グリーン」、「観光」など、色々ある中でも、優先順位を考え、これに集中するというものを一つの柱にするのが良いのではないか。
- ・ いくつか柱があっても良いが、例えば観光であれば、ワーケーションをうまく使ってIターン・Uターンにつなげていく等、その中においても一つぐらいに絞っていくと良い。
- ・ 海外の観光業では、ウェブの予約サイトではなく、チャットで細かな要求などを聞いて

てもらえるという流れがある。富山県では、チャット観光という一点突破が良いのではないか。

- ・ 日本企業は自社がSDGsに沿っているかが見えていないが、世界では、人件費や土地代だけでなく、環境に対する負荷、人権問題に対する負荷、作る過程でのハラスメントや人権問題、多様性に対する配慮などがコストとして見える化されつつある。こうした観点でコスト計算したら、世界で一番有利な製造拠点は富山県ということも起こりうる。
- ・ DXの生産性を高めるには、ビジネスリーダーだけではダメで、住民全体のDX化が必要である。県内の大学や専門学校、民間等と連携して、県民全体のトレーニングをやってもらいたい。
- ・ 一点突破するためには、必ず勝つために競争相手をよく見る必要がある。大分県が空港で衛星を飛ばせることを売り物に、ヴァージン・オービットを誘致したように、他所では難しいことが自県なら柔軟に対応できて、かつ、地域の稼ぎにつながるものを選ぶ必要があるが、それを判断できるのは首長のトップダウンしかない。
- ・ 富山の薬売りはサブスクやSaaSというビジネスモデルの先駆けだと思う。富山は最古のサブスクリプションモデルとして薬売りを開発したところでウェルビーイングを生み出しているという発信ができるのではないか。
- ・ 製造業、しかも中小下請けが多い富山県では、元受けにSDGsやグリーン化を求められれば従わざるを得ないと思われるので、首長のトップダウンと言っても、枠組み作りや補助金交付という方法論にしかない気がする。
- ・ くすりは富山の基幹産業であるが、配置家庭薬は右肩下がり、ジェネリック薬品も既に飽和状態に近く、今後どうしていくかを、くすりのシリコンバレーとやま創造コンソーシアムで今議論している。
- ・ 製薬業では、富山大学が持っている非常に優れた抗体製造技術を是非活用してほしい。また、ライセンスが切れた薬について、ジェネリックやバイオシミラーという形で世の中に出すことを是非考えてほしい。
- ・ 富山の薬は、開発・製造に軸足がある印象があるが、例えば、決済機能等を持ったお薬手帳のアプリなど、薬を利用する側がもっと簡単に便利に賢く使えるような仕組みづくりを率先して取り組むことが大事ではないか。
- ・ 国際経済では、カーボンニュートラルに続いて、生物多様性保全のための資源採掘時

の事前破壊規制が大きな課題となりつつあるが、その次に規制対象となるのは人権だ
と思う。

- ・ 今、中国の人権に問題がある地域での生産品について騒がれているが、将来的には経済活動において「人権」が、世界のトップ概念になると予想している。
- ・ 県がウェルビーイングを政策の最上段に掲げ、それを達成するために経済政策を検討するのであれば、こうした国際的な流れをエッセンスとして加えることで、「国際標準の時代の地方の形」など、表現をお化粧ができる可能性があるのではないか。
- ・ ヨーロッパを中心に、サプライチェーンの中で温室効果ガスの排出量をしっかり測らねばならない時代になりつつある。大手企業等ではできていても、3次下請け以下だと排出量の見える化に対応できている企業は少ない。今のうちに中小企業をサポートし、「見える化」に応えられる企業群が富山県にあると示せれば、他所にはない強みになると思う。
- ・ アルミをたくさん作って売るというより、アルミを使って新しい価値と社会を作るという視点を持てば、新たなビジネスを切り開けるのではないか。
- ・ 中間とりまとめにある「実証実験立県とやま」の実現に向けた中長期のステップ、ロードマップ的なものが見える化され、関係者で共有されるとよいのではないか。
- ・ 次世代モビリティとして注目されている「空飛ぶ車」等の地方部における実証フィールドとして期待されるのは基礎自治体ではなく、まとまった範囲を持つ都道府県だと思う。
- ・ 富山県の産業構造は組立型の産業ではなく素材や部品が中心となっているので、「新産業」のあり方を考えるのであれば、今まで蓄積してきた産業や技術をブランド化するという意味で捉えて政策立案すると良いと思う。
- ・ DXの重要性として、生産性の向上以外に、新たな価値創造という観点が見落とされがちに感じる。新たな価値創造には、地域が持つデジタルデータを企業がいかにお金に変えていくかという視点が必要ではないか。
- ・ 一点突破という観点で考えると、今必要な人材育成は、既に産業界で働いている人が、それまでの実績の上に、さらに新しい分野へ挑戦するための教育、いわゆるリカレント、リスキリングだと思うので、そのための仕掛けやシステムを考えることが必要ではないか。
- ・ 富山県の教育は、東京から見ても素晴らしく魅力を持っていると感じられるので、

その魅力を発信し、教育で人を呼ぶような施策を打てないだろうか。

- ・ 新しい学習指導要領で取り入れられた総合的な探求の時間を後押しする施策を打ってほしい。教育の下支えをする人材育成を進めることで好循環が生まれ、時間はかかるかもしれないが、元気がでる。
- ・ 優秀な人材の県外流出が問題になっているが、こうした人材を県内の大学や企業に留める仕組みを考える時期に来ているのではないか。
- ・ 教員が探究的な学びを意識すれば、子供はそういう学びを意識し、そういう学校になる。学校が、保護者、地域、企業、県などと手を組んで子供たちの育成に携わってもらえれば、ますます素晴らしい富山県につながると思う。
- ・ 富山県立大学はリカレント教育にも力を入れており、新年度に開設するDXセンターでも社会人教育に取り組む。県には、県立大学の予算要求を待つだけではなく、こんなリカレント教育をしておいしいという提案も出して、擦り合わせた上で必要な予算を講じてほしい。
- ・ 新産業に向けた教育という観点では、DXセンターやコワーキングスペースのような所に、ここに行けば毎週1回何かセミナーをやっていて、ビジネス経験者など、身近なロールモデルから話を聞けるという場所が必要ではないか。
- ・ データのマネタイズと言うと、広告・金融などが典型例であり、その仕組みや、世界のトレンドを学べる場所が必要だが、それは富山の大学や企業でなくてもよいと思う。むしろ東京で活躍した後に本社を富山に移してもらおうくらいの気概で、愛着のある人が戻ってくるエコシステムが構築できるとよいと思う。
- ・ 誰も置き去りにせず、全員がDXを使えるようにすることは、高齢者を含む多くの人の行動をデータ化してお金に変えることに繋がるという面からも、非常に大事だと思う。
- ・ これからは世界的に中小企業がESG/SDGsコンプライアンスの標的になるので、日本の中小企業には、この流れを早急に認識させねばならない。逆に、先んじれば世界の中小企業の中で、日本の中小企業が最もESG/SDGsコンプライアンスが進んでいて、その先頭が富山県だという流れも作り得ると思う。
- ・ 東南アジアには、大企業向けにウェルビーイング、炭素税、インクルージョンやダイバーシティなどをスコアリングするサービスがあるが、中小企業向けのものほとんどない。こういう業者をつなげて、中小企業からESG/SDGsコンプライアントが広がるという流れが富山から発信できれば面白い。

- ・ 成長戦略会議では、富山の教育は学習能力志向に偏重しすぎて、優れた人格を備え社会を生き抜ける大人を育てるという部分が足りないのではとの指摘があり、中間報告では、STEAM教育や、教員を指導する校長や教育委員会、教育長などに優秀な人材を充てるための県によるコミットの必要性が書かれている。